

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おひさま			
○保護者評価実施期間	2024年10月1日 ～ 2024年10月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	2024年10月1日 ～ 2024年10月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 6日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子療育クラスを開設している事。	・ 日常的にお子さんの成長をご家族と確認しています。 ・ 職員やご家族同士、話しやすい雰囲気作りを心がけています。 ・ モニタリングの時期以外に懇談日を設けています。 ・ 茶話会や学習会等、ご家族同士が話し合える機会を設けています。	・ ご家族同士、情報交換や悩み相談、レスパイト等の機会を増やしていいかと考えています。 ・ お子さんの理解の様子や特性等、お子さんへの関わり方の理解を深める取り組みを、個別課題や集団活動の中で深める機会を更に増やしていいかと考えています。また、どの様にすると力を伸ばしていけるのか、具体的な提案や取り組みを更にできていいかと考えています。
2	1クラス5人の少人数で療育を行っている事。	・ お子さん安心して活動に取り組める様に、活動内容によっては、お子さんの特性や発達段階、お子さん同士の相性を考慮し、5人のお子さんを更に小さいグループに分けて活動しています。	・ 現状維持で良いと考えています。
3	ご家族に送迎を行って頂いている事。	(主に単独クラスでの取り組みについて) ・ 送迎の際に、進路や発達について等、ご家族の相談にタイムリーに応じる様にしています。 ・ その日の様子を写真で取り、お迎えに来て頂いた時に、口頭での説明を加えながら、見て頂いています。	・ 下記に記入致しました。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	通常の療育を規定を満たす最低の人員配置で行っている事。	職員が外勤やお休みを頂いている日には、通常よりも療育の体制が手薄になってしまう事がある。	・ 2025年度、1名職員を増やす予定です。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	おひさま
------	------

公表日 2025年 3月 31日

利用児童数 2025年11月30日現在 38名 回収数 27件 (回収率71%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	92%	8%			・活動に合わせて人数を分けているのでのびのびと活動できていると思う。	・これから、お子さんが安心してのびのび活動ができる人数の調整を行っていききたいと思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	81%	15%		4%	・親子クラスの為、大人の目はたくさんあるので危険なことはないが、いつも忙しそうだと思う。 ・話したい時に他のお子さんのお母さんと話している時がある。	・職員がお休みを頂いていたり、外勤に出ている日があり、職員配置が手薄になった日があったと思います。職員間でご家族の方へ対応させて頂くタイミングの調整をし、ご家族の方に安心して利用して頂き、様々なお話を聞かせて頂く時間を丁寧に設けていきたいと思っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%				・その子その子に合わせた安心して落ち着いて過ごせる為の工夫がされていると思う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%				・どの部屋もいつもキレイで活動に合わせて仕切り等で子どもの意識が他に移らないような工夫がされていて凄いなと思う。 ・いつも感じるが、とても清潔に保たれていると思う。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	92%	4%		4%	・いつもさりげなく助け船を出して貰ったり、話を聞いてよりそって貰っている。本当にありがとうございます。	・お子さんの発達について、評価を丁寧に行うと共に、支援について研鑽を積み、更に専門性の高い支援をご提供させて頂きたいと思っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%				・思います。子様子によりそいながらのびのびと過ごす中のできる事がたくさん増えて感謝している。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	96%	4%			・得意なこと、苦手なことをわかってもらった上で、色々な経験ができるようにと考えて貰っていると感じる。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	96%	4%			・子に対しては目標に対してスモールステップでたくさん成功体験が積めるように段階を踏んでもらいできる事がたくさん増えた。親に対しても肯定的にアドバイスしてくれるのでとても温かい気持ちにさせて貰っている。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%				・決して無理強いせず、子のペースに合わせて色々なことにチャレンジさせてくれている。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	96%			4%	・子様子を見て定期的に変えてくれている。 ・季節によって変化がある療育活動にありがたく感じている。	・季節を感じられる内容になる事や、静と動の活動をバランス良く経験して頂ける様に心がけています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	37%	15%	18%	30%	・なかった。	・認定こども園や保育所等と併行利用しているお子さんが大半であるため、交流の機会は設けていません。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	92%	8%			・あった。	・支援プログラムに関しては、今年度作成しました。自己評価の公表と合わせて周知させて頂きたいと思っています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%				・された。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	92%	8%			・全くなかったわけではないが、研修などの親が学べるものがあるのであれば、教えて欲しい。 ・ご家族向けの研修案内がありましたら、周知させて頂きたいと思っています。 ・中央病院等で行っているCAREプログラムがご家族に好評だったので（知らせてくださったご家族がいらっしゃった）、今後ご家族と一緒に職員も学ぶ機会を検討していきたいと思っています。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%				・いつも全員の職員が話しやすい雰囲気を作ってくれているので、気軽に色々な話ができる。	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	96%	4%			・面談として時間を設けている時はもちろん、日常的に何かあるたびに相談に乗って貰っている。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%				・とても思う。子にも親にも寄り添って貰えて本当にありがたい。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	70%	15%		15%	・茶話会や学習会等で他の保護者の方がどういう考え方なのか、どんなことをしているのか等を知れてとても勉強になる。兄弟への支援は分からない。 ・勉強会や茶話会で先輩お母さん方とお話をさせて貰い、とても勉強になっている。 ・きょうだい同士の交流の機会以外は該当していると思う。	・茶話会や学習会、単独通園日（親子クラス）等でご家族同士の交流の場を提供させて頂いています。 ・単独クラスや単独通園日には、談話室を解放し、ご家族同士の交流の場を提供しています。 ・きょうだい同士の交流の場は、年齢が低いご兄弟が多い事や、土曜日も療育を行っている事もあり、提供していませんが、療育に同席して頂く等、個別での対応を行わせて頂いています。 ・今後、ご家族のご希望も取り入れながらペアレントメンターやお子さんが大きくなったご家族からのお話も検討していきたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	96%	4%			・ふとした疑問から答えがなかなか出ない悩みまで、直ぐに一緒に考えて貰え、制度や施設等、色々な選択肢を教えて貰い助かっている。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%				・込み入った話をしたい時には場所と時間を用意して貰え、安心して話ができる。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	78%	11%	4%	7%	・左記の様な発信はあまりないように感じる。私分からないだけでSNS等があるのかも知れない。	・SNSの利用は行っていませんが、2ヶ月に1回、行事予定や懇談予定、おひさまの療育内容のコラム等を掲載した『おひさま通信』を配布させて頂いています。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	96%			4%	・特に問題は感じた事はない。	
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	92%	4%		4%	・マニュアルは説明されたが、地震・火事以外の避難訓練には参加した事はない。	・地震の避難訓練は、それぞれのクラスで、少なくとも年1実施できる様、年間計画を立てて実施しています。 ・火災の避難訓練は、つくしんぼ学級と合同のため、平日の午前クラスのみ実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	96%	4%			・定期的に避難訓練を行っている。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	92%	4%		4%	・安全の確保は十分に配慮されていると思うが、計画等については分からない。	・安全計画を作成し、職員間で周知しています。また、療育前後に使用する遊具や教材に関して、お子さんやご家族の方に安全面の配慮が適切かどうか、職員間で確認と調整を行っています。
満足度	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	74%	4%		22%	・事故や怪我をしたことがないので分からない。 ・左記の様なことがないので分からない。 ・事故に至ったケースがない。いつも安全に配慮されていると思う。	
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%				・場所にも職員にも安心しきっているようで単独療育の活動も「OK」と軽い感じで受け入れられるようになった。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	100%				・前日の夜から「明日はおひさま？」と聞いてくるくらい楽しんで通っている。 ・最近は自ら来週の予定をカレンダーで自宅でも確認している。 ・とても楽しみにしている。用事があつて行けないと泣くほど『おひさま』が好き。 ・もちろん。	

	29	事業所の支援に満足していますか。	100%				・とても満足している。本当にありがとうございます。 ・いつも親身に話を聞いてもらい感謝している。	・これからも、お子さんやご家族の皆様 に、安心し、楽しく、満足して頂けるお ひさまを目指していきたいと思います。 ご家族の皆様には、日頃より、温かく、 深いご理解とご協力を頂きまして、感謝 申し上げます。
--	----	------------------	------	--	--	--	--	--

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
おひさま		2025年 3月 31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	60%	40%		・保育所等訪問支援を必要なニーズに合わせて実行していくと考えると職員数が足りないと考える。(2名) ・保育所等訪問で外動になった際、子どもの把握が難しく感じる事がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	20%	60%	・今年度中に実施を予定している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%			・支援計画の更新月が利用児のよって異なるため、改めて変更になった時に確認がよりできたら良い。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		・フォーマルなアセスメントは使用していない。 ・事業所独自で作成したアセスメントシートを使用している。	・今後、ご家族と共有できるアセスメントシートを検討して、成長の様子が目で見え確かめられるような形を検討していきたい。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%			

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%			・移行支援として小学校への引き継ぎに関してどのような項目を、どのような形で引き継いでいったら良いかを、ご家族の要望も聞きつつ検討していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	80%	20%	・児童発達支援センター主催の学習会に参加している。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		80%	・支援内容には含まれていないが、ほとんどの利用児が、日常的に過ごす並行通園先がある。	・ご家族のニーズや、子どもたち自身の思いにも耳を傾けつつ、おひさまとしてのインクルージョンの進め方を検討して行きたいと思っています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	80%	20%		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		・ホームページやSNS等を利用していない。	・活動内容等に関しては、2ヶ月に1回、おたよりを作成し情報を発信している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	20%	80%		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	80%	10%	・現在対応する利用児はいない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	80%			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	60%	10%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・毎日支援終了後にヒヤリハットを上げて、原因と対応に関して話し合っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%			C A P（子どもの暴力防止プログラム）を学ぶ機会として、北斗市にも函館市のように無料で講師が依頼できるように働きかけていくことを検討したい。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おひさま		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日 ～ 2024年 11月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 21日 ～ 2025年 1月 8日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○訪問先施設評価実施期間	2024年 11月 1日 ～ 2024年 11月 30日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	14件	(回答数) 9件
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	対象児を児童発達支援事業利用児としているため、保育所等訪問支援計画の内容を児童発達支援事業でも共有し、園での大きな集団場面と合わせて、個別的な療育場面で取り組む事ができ、お子さんのスキルアップやスキルの定着に繋げていく事ができる。	園での行動観察と必要に応じて個別的な関わりを行う中で、お子さんへの関わり方の共有や支援グッズの導入等を担任の先生と検討し、必要な支援グッズを作成し、園で取り組んで頂いているケースがある。また、必要に応じて児童発達支援事業でも取り入れ、スキルアップやスキルの定着を促している。	園の先生方の素敵な関わりの中で、園生活を大きな困り感無く楽しんでいるお子さんに対しても保育所等訪問支援事業を実施している。保育所等訪問支援事業の成果を高めるため、必要な利用自児に対して定期的に実施する事が望ましい。児童発達支援事業所と保育所等訪問支援を行う事業所として、二つの事業の質を確保するため、実施するお子さんの必要度を確認し、優先順位を立てて実施していく事を検討していきたい。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	通常の療育を規定を満たす最低の人員配置で行っている事。	職員が急なお休みを頂く際、予定していた日に、保育所等訪問支援を実施できず延期になってしまう時があります。また、保育所等訪問支援等で外勤をする際、児童発達支援事業の療育の体制が手薄になる時がある。	・2025年度、1名職員を増やす予定。
2	毎月訪問することが難しく、保育所等訪問支援計画の実行者が訪問支援員ではなく、園の担任の先生になってしまうことがある。	児童発達支援事業と同時進行のため、職員が抜けられない日があったり、先方の都合とこちらの都合が合いにくいことがある。	・2025年度、1名職員を増やす予定。 ・なるべくニーズに添って訪問できるようにする。
3	園によっては、カンファレンスの時間が取りにくかったり、担任の先生とだけしかお話しが出来ず、管理職の方に入って頂けない場合がある。	園側の体制もあり、こちらの要望が通らないことがある。保育所等訪問支援が地域に少しずつ浸透してきているので、カンファレンス出来る園は増えてきている。	・訪問支援に入る際に、訪問支援の意図を訪問先に伝えて、管理職も含めたカンファレンスの時間を取っていただくようあらかじめお願いをする。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 おひさま

公表日 2025年 3月 31日

利用児童数 2024年 11月 30日 回収数 14/19 (74%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	50%	7%		43%	・様々なことを配慮していただいていると思いますが、どのように訪問されているか分からなかったので、分からないにつけた。	・訪問時は、主に、お子さんが活動している様子を把握させて頂き、必要に応じて、集団に参加できる様に伝させて頂いたり、園の先生と情報交換の時間を頂き、当日の様子やそれ以外の様子でお子さんが困っている事についてと必要な取り組みを確認させて頂いています。また、必要に応じて、園で使える支援アイテムをお渡しさせて頂く事もあります。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	79%	14%		7%	・様々なことを配慮していただいていると思いますが、どのように訪問されているか分からなかったので、分からないにつけた。	・園の先生とお話をさせて頂く際には、お子さんが話の内容を聞く事がない部屋を用意して頂いています。ありがとうございます。 ・訪問時の様子をお伝えする際にも、お子さんが話の内容を聞く事がない部屋で行っています。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	100%					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	100%					
適切な支援の提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	100%					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	100%					
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	93%			7%		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	100%					
保護者への	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	93%			7%		家族支援プログラムに関しては、ご家族向けの学習会や茶話会を児童発達支援事業で開催しています。
	15	必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	100%					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					

説明等	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	100%					
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	100%					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	100%					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	79%	7%	7%	7%		定期的に保育所等訪問支援事業について通信等は配布していませんが、保育所等訪問支援事業を行わせて頂いた結果については、書面と共に口頭でお伝えさせて頂いています。今回、実施させて頂いた評価シートについては、後日、おひさまHPに掲載させて頂く予定です。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	86%			14%		訪問時に緊急対応を行ったケースはありませんが、万が一の際には、訪問先の園の方針に添い、対応させて頂きたいと考えております。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%					
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	100%				・訪問を楽しみにしています。来てくれる日はとても嬉しいようだ。	園訪問させて頂き、おひさまで過ごす時はまた違った姿が多くあり、発見や気付きがたくさんありました。
	28	事業所の支援に満足していますか。	100%				・助かるし、安心して、訪問支援をお願いできている。 ・本当にありがたかった。子どもに理解しやすいように先生方も工夫してくれる様になり、成長に繋がった。	定期的にお伺いさせて頂く中で、お子さんが、先生方のきめ細やかな工夫や配慮の中で、たくさんの力を育んでいる事を強く感じていました。また、先生方とのお話の中で、お子さんやご家族の方への暖かい思いを聞かせて頂き、気付きや学びをたくさん頂いておりました。その機会を頂きまして、本当にありがとうございました。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日	2025年 3月 31日
おひさま	利用児童数	2024年11月30日 回収数9/14 (64%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	89%	11%		・子どもの状況や状態を見て、今の現状の段階でどのような支援や助言が必要なのかということが具体的で分かりやすい ・いつも、子どもたちにも丁寧に関わってもらい、また、子どもの特性を踏まえて具体的に分かりやすく指導してもらっている。 ・活動の様子や保育者の接し方を見てどんなことに困っていてどんな支援をしていくと良いか教えてもらうことで、日ごろの関わりや保育に取り入れることができている。 ・言葉掛けなどいつも具体的な助言をもらっている。 ・6月21日の訪問では、園での活動の様子や、おひさまでの利用児の姿中心のお話を聞かせて貰ったので、助言等は無かったため「どちらともいえない」にチェックした。	・園の先生方とお子さんへの眼差し共有し、同じ方法で関わる事で、お子さんの成長に繋がっていると感じています。集団の中で、お子さん一人一人に合わせた関わりを実践される、園の先生方の思いや取り組みに、頭が下がる思いでいっぱいです。 ・児童発達支援事業を併設されている園では、とても丁寧な支援が取り入れられており、お子さんの様子の確認をさせて頂く形となりました。次年度は、別の形式で連携を取らせて頂けたらと考えております。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	100%			・無理に支援したりするのでなく、その子のペースに合わせた知識や技術、支援方法で接してくれる。 ・とにかく、子どもたちにかける言葉が優しく丁寧に勉強になる。 ・カードやイラスト等普段園では使用していない方法を教えてもらった。	・これからも、お子さんの行動の理解について、支援方法について、研鑽を積んで行きたいと思います。

3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	89%	11%	・担任の思いを受け止めてもらいどのような支援が必要なのかという部分では適切に回答してもらっている。 ・支援会議では、丁寧に幼稚園側の質問にも答えてくれて参考にしている。 ・おひさまで行っている支援などを例にあげながら丁寧に回答してもらった。 ・こちらからの質問がなかったため。	・これからも、お子さんの園での様子や先生方との話し合いの中で、お子さんが必要としている支援のアイディアを一緒に考えさせて頂きたいと思います。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	89%	11%	・療育のやり方を目にすることができ勉強になる。また、課題や困りごとにも真摯に向き合ってもらっている。 ・専門的な立場からの助言をもらえるのはありがたい。 ・子どもの気持ちの切り替えが以前よりも上手にできるようになった。	・訪問させて頂く事で、お子さんやクラスがスムーズにできる機会に繋がっていると回答頂き、これからも、引き続き、お子さんの行動や発達の段階から支援を考える事を大切にしていきたいと思っています。
5	事業所からの支援に満足していますか。	89%	11%	・実際に支援している場面を見ることもでき、支援を必要としている子どもの園としての悩みや課題を相談できる場として満足している。 ・大満足している。 ・ありがとうございます。 ・年中クラスになってからの子どもに対しての支援方法の変化がなかったため、「どちらともいえない」にチェックした。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応	
・訪問の予定日に突然の欠席連絡により、何度も足を運んでいただいたり、園児やそのご家族のことにに関して情報共有できることは私たちはもちろん、保護者にとっても安心に繋がっていると思う。いつも丁寧に話してもらい、こども園で行っている手だてや支援の方法などを話すといつも褒めてもらえるので職員の自信に繋がっている。感謝している。				・お忙しい中、日程調整や当日の見学と話し合いの時間等、たくさんのご協力とご理解を頂きまして、本当に感謝申し上げます。先生方のお子さんへの眼差し、思いに、たくさんの気付きと学びを頂いておりました。集団生活の中で、お子さんの個性を捉え、一人一人に合わせて声を掛けながら、全体活動を進める先生方のお姿に、感銘を覚えた時がたくさんありました。利用しているお子さんが事業所へこられる度に、落ち着いて過ごし、意欲的に活動に取り組んだり、気持ちを伝えてくれる様子	

・南茅部は中心部よりも離れているため、通う事が無理な家族も多く、来ていただき、見てもらえるだけでも心強い。いつも支えられていると感謝している。勉強不足で聞く事ばかりになっているが、いつも丁寧に対応してもらい勉強になる。引き続き、園を支えて貰えることも助かる。

・訪問支援を利用するようになり、療育施設と幼稚園との繋がりができた事で私たちも心強く思っている。幼稚園は集団で育てる場、療育は個別の指導をベースに苦手な部分を補う事が目的という事で目的が違うが、子どもファーストで一人一人の良さを発見したり、その子が園の教育理念『遊学教育』と相通じるところが多く、療育の先生方の一人一人を大切にする指導を学ばせてもらっている。ここ数年、個別の指導が必要な子ども達が増えて、私たち自身も悩むことが多く、訪問支援・支援会議を通して色々と力を貸してもらい、ありがたく思っている。

・いつも支援に来てもらい感謝している。園での対応の困りごとに対して適切に助言や支援の方法を分かりやすくアドバイスもらえて助かっている。支援の技術も少しずつ身に付ける事ができている。保育士に寄り添ってもらい心強く励みになる。感謝している。

・支援の必要な子の関わりについてだけではなく、職員に対して励ましの言葉や助言をもらう事があり、日頃の悩みを聞いてもらったり子どもや保護者への関わりのアドバイスをもらったりする中で、励まされることがたくさんある。感謝している。

・子どもがおひさまで行っている活動内容や保護者との関わりの様子なども教えてもらい、園では見られない姿を知ることができたり、今後の課題や支援の方法なども相談でき、とても助かっている。これからもよろしくお願いしたい。

・訪問回数はもう少し減らして良いかと思う。

から、毎日の園での生活の安定や必要な支援を経験している事を感じていました。先生方が毎日継続して取り組まれている事がお子さんの力となっているからこそ感じています。また、先生方と一緒にお子さんの支援について検討させて頂く中で、チームでお子さんを応援する安心感を感じていました。これからも、お子さんやご家族にとって必要な事について、共通の認識を持ち、支援させて頂きたいと思っております。これからも、どうぞよろしくお願い致します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
おひさま		2025年 3月 31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営・	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	100%			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	25%		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	100%			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	100%			
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	100%			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	50%	50%	・今年度より、運営アドバイザーを第三者に お願いすることができて良かった。 ・今後実施予定である。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・保育所等訪問支援についての研修の機会が あると良い。	
適切な 支援の 提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	100%			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100%			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	100%			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		・フォーマルなアセスメントはしていない が、他機関でのアセスメントを参考にする事 はある。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	100%			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	100%			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	100%			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	100%			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	100%			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	100%			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100%			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%	・児童発達支援事業でコミュニケーション等の学習会を実施している。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	75%	25%		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・訪問先によってとらえ方が違っているため、改めて説明する機会があっても良いと思う。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	75%	25%	・児童発達支援事業で茶話会を実施している。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	75%	25%	・HPやSNSの活用はしていない。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100%			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他の必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%			